

年明け、45 年ぶりにお会いしました

園 長 小 島 澄 人

あけましておめでとうございます。時はもう 2 月、年長さんたちは小学校に気持ちがいきながらも、幼稚園生活を満喫しています。もうすっかり大きくなった 3 歳、4 歳の子どもたちも新しいクラスが気になるようです。

年明け、45 年ぶりに教え子にお会いしました。

元旦、年賀状が届き、1,000 枚余りを 1 枚 1 枚読んでいくと、見知らぬ名で 1 枚の年賀状、旧姓が書かれてあったので懐かしくなり、電話いたしました。高校 1 年で受け持った生徒さんです。聞くと、高校卒業の際、記念に大切にしている物を、私に頼んだそうで、「大切にしていたものなのでお返ししたい」とのこと。63 歳、まだ学校で美術の先生をしているとのこと、お会いすることになりました。出会いは 47 年前、新米教師として女子高に勤めた時でした。一緒に卒業アルバムを見ながら話が弾みました。教えていたころのノートを開き授業記録、名前を確認していましたので、様々な話が次から次と。

高校 1 年の最初の私の時間に「ごきげんよう」と挨拶するのですが、クラスみんなが一斉に後ろを向いて挨拶したとのこと、すると、私は怒ることなく、後ろに行ってそのまま授業を続けたそうです。私はそんな記憶はありませんでしたが、その企画をしたのもその先生だったとのこと、びっくりです。差し上げたものには覚えがありませんでしたが、それは私が中学 1 年の時、当時高校 3 年の憧れの先輩にいただいたものでした。どうしてそんな大事なものが高校卒業の際に渡されたのかは今でも不思議でなりません。木彫のもので古いブロンズが刻まれていました。今までの懐かしい思い出、その二人は 70 歳と 63 歳、まだ教師としての立場、まだまだ頑張ろうと、気持ちを新たにいたしました。

その先生の学生時代の絵の作品を見ましたが、素晴らしいものでした。個展の開催を進めましたが、楽しみが増えました。その時の同級生に柿の実幼稚園で 30 年余り勤めた方もいましたが、定年退職しました翌年にはまた幼稚園の先生とのこと、やはり社会人としてスタートした 47 年前のことついでこの前のようです。全クラスの授業も持っていたので、ほとんどの生徒さんたちが思い出されました。

卒園を迎える子どもたち、先生と過ごす時間はあとわずかです。けど、先生たちはいつまでも忘れることはありません。いつあなたと、あのことを、このことを、しっかりと覚えているものです。私も今でも幼稚園時代の陽子先生のこと忘れていません。65 年たっても忘れない、それが先生と子どもとの関係でありたいですね。里帰りしてお会いしたいものです。

ミカンを収穫し、そしてジャガイモを種埋めする時期、男性職員が準備をして待っています。卒園遠足、進級遠足、担任との楽しい遠足も待っています。子どもたちが 1 年を通して制作してきた、書いてきた作品展もあります。子どもたちの力作を楽しみにしてください。